

なかよし

てんどうちゅうぶしょうがっこう
天童中部小学校

がっせい
いちよう学級

R3.12.10

No. 27

本物で気づく 学びの多い校外学習でした。わたくしが…。

Aさんと校外学習に行ってきました。Aさんは、この学習に『バスや電車で行こう・その1・イオン』と題をつけました。Aさんは車いすで、私はその車いすを押して出かけました。Aさんが学習してきたことはもちろんですが、一緒に行った私が多くを学んだと振り返ります。

「知らないことや気づいていないことがいかに多いか」「世の中の人々は、案外みんな親切」ということのほんの一部についてお話ししたいと思います。

★バスのこと…。



このマイクから運転手さんに声をかけます。
運転手さんがスロープを出してくれます。

車いすが乗る場所は、バスの椅子をたたみます。
車いすを固定する金具があります。

★車いすを押していて感じたこと

- ・歩道の幅が案外狭く、しかも斜めになっているところがあり、気を付けて押す場面が多いです。
- ・階段のあるところは、スロープが設置されていますが、結構長いので、運動量が多くなります。
(階段のようにさっさとはいきません。)

車いすを押しただけでも、こんなにあるのだから、自ら車いすを動かしている人は、どんなにか多くのことに気をつけなければいけないということがわかりました。

★気づけずにいること

- ・駅の待合室にいた白杖を持った人が「ヘルプカード」をつけていたこと。
(Aさんは気づいていましたが、私は気づけませんでした。)



★案外みんな親切だということ

バスの運転手さん…「腰が痛いんです。」「やったことがないんだよなあ。」などとつぶやきながらも、時間を気にすることなく、Aさんの安全のために一生懸命作業していました。

電車に乗るときは、ホームとの段差があまりなく、すんなり乗ることができました。でも、降りるときは、段差があって、手こずっていると、そばにいた二人の女性が、すぐに車いすに手を添えて、電車から降りるのを手伝ってくれました。Aさんも自然に「ありがとうございます。」と声がでていました。

やってみないとわからないことや、お互い相手の立場になって考えてみることの大事さを強く感じた校外学習となりました。

帰りの道すがら、Aさんが、「私ね、今度ね、一人で電車に乗ってみようかなって思ったの。だって、親戚のお兄ちゃんが、電車で学校に行っているんだよ…」と。経験することで、「私もできる!」という自信がもてたのかもしれないと感じました。

さらに、終わりの会では、「でもね、電車に一人で乗るのは、もう少しあとかなって思いました。で、今度はいつ行きますか?」と。目指す自分の姿に向かって何をしていけばいいかという学習の見通しを、自分なりにもつことができたのかもしれないとも感じました。